

介護現場の安全 + SAFE通信



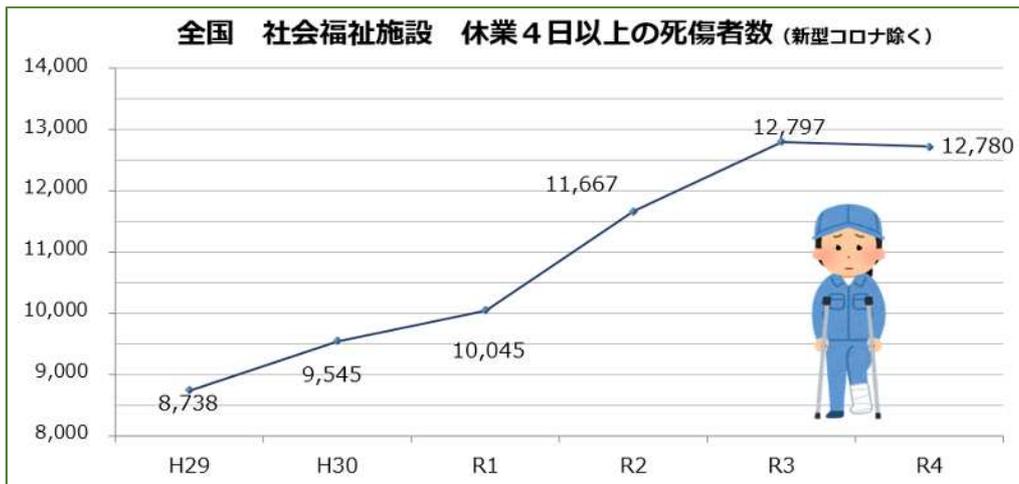
2023.8

岡山県の介護従事者の労働災害を減らすため
職場の安全 & 健康な情報をタイムリーにお届けします

みなさんに知ってもらいたい！

介護従事者の労働災害が著しく増加しています！

近年、長期的にみると国内における労働災害は減少傾向にあります。
しかし、社会福祉施設における労働災害は大幅に増加している状況にあります。



ポイント

国内の多くの業種で人手不足となつていますが、介護業界でも人手不足は大きな問題となつてゐることはみなさんご承知のとおりだと思います。労働災害が多い業種となると悪い印象が先行し、益々求職者が減ることになります。他人事と考えず、業界全体で労働災害を減らす努力を行つていく必要があります。

どのような災害が多いのかというと、腰痛など「動作の反動・無理な動作」が35%、「転倒」が34%となつており、それらだけで約70%を占めています。介護従事者の腰痛対策・転倒対策は急務です。

令和4年 社会福祉施設 事故の型別死傷者数

(コロナ関連除く)

動作の反動・無理な動作	4,475
転倒	4,379
墜落・転落	814
激突	654
交通事故(道路)	568
その他	1,890
合計	12,780



ポイント

腰痛や転倒は施設内だけでなく、訪問介護等利用者の自宅等においても発生していることから、訪問先におけるノーリフトや履物等についても考えていく必要があります。



岡山県の介護現場の労働災害の減少を推進する **岡山 + SAFE協議会 構成員**

【リーディングカンパニー】(福)天神会、(福)敬友会、(福)旭川荘

【関係団体】(公財)介護労働安定センター・岡山県社会福祉法人経営者協議会・岡山県老人福祉施設協議会・岡山県障害福祉施設等協議会・岡山県訪問介護事業所連絡協議会・(一社)岡山県通所介護事業所協議会・(公社)日本認知症グループホーム協会・(一社)岡山県老人保健施設協会・(一社)日本福祉用具供給協会・(一社)岡山県介護支援専門員協会・(一社)岡山県労働基準協会・(独)労働者健康安全機構岡山産業保健総合支援センター

【スペシャルアドバイザー】JFEスチール株式会社西日本製鉄所(倉敷地区)・(一社)岡山県理学療法士会

【サポーターカンパニー】アイ・ソネックス(株)・(株)ウェルパートナーズ・ダイヤ工業(株)・日進ゴム(株)・(株)丸五

【地方自治体】岡山県

【事務局】厚生労働省岡山労働局(ご意見・ご要望は 岡山市北区下石井1-4-1(健康安全課 086-225-2013)まで)

みなさんに補助金をどんどん活用してもらいたい！

補助金を上手に活用してノーリフトケア等を推進しましょう

エイジフレンドリー補助金のお知らせ



エイジフレンドリー補助金は、高齢者を含む労働者が安心して安全に働くことができるよう、中小企業事業者による高年齢労働者の労働災害防止対策やコラボヘルス等の労働者の健康保持増進のための取組に対して補助を行うものです。

「高年齢労働者の労働災害防止コース」では、高年齢労働者が安全に働けるよう、高年齢労働者にとって危険な場所や負担の大きい作業を解消する取組等に対して、補助を行います。「コラボヘルスコース」についてはパンフレットをご確認ください。

高年齢労働者の労働災害防止対策コース	
対象事業者	(1) 労災保険加入している (2) 中小企業事業者(※1) (3) 高年齢労働者(60歳以上)を常時1名以上雇用し、対象の高年齢労働者が対策を実施する業務に就いている
補助対象	高年齢労働者にとって危険な場所や負担の大きい作業を解消する取組に要した経費(機器の購入・工事の施工等)
補助率	1/2
上限額	100万円 (消費税を除く)

どんなことに使える補助金なの？

例えば、介護の現場における補助金で購入や活用できる労働災害防止対策は下記のようなものがあります。

- ▶ 不自然な作業姿勢を解消するための作業台等の設置
- ▶ 重筋作業を補助するパワーアシストスーツの導入
- ▶ 介護における移乗介助の際の身体的負担を軽減する機器の導入
- ▶ 介護における入浴介助の際の身体的負担を軽減する機器の導入
- ▶ 介護職員の身体の負担軽減のための介護技術(ノーリフトケア)の修得のための教育の実施
- ▶ 重量物取扱いや介護作業における労働災害防止のための運動指導の実施
- ▶ 作業床や通路のつまずき防止対策(作業床や通路の段差解消)
- ▶ 作業床や通路の滑り防止対策(水場等への防滑性能の高い床材・グレーチング等の導入、凍結防止装置の導入)
- ▶ 階段への手すりの設置



助成金
パンフレット
QRコード

(1) 中小企業事業者の範囲

業種	業種	常時使用する労働者数	資本金又は出資の総額
小売業	小売業、飲食店、持ち帰り配達飲食サービス業	50人以下	5,000万円以下
サービス業	医療・福祉、宿泊業、娯楽業、教育・学習支援業、情報サービス業、物品賃貸業、学術研究・専門・技術サービス業など	100人以下	5,000万円以下
卸売業	卸売業	100人以下	1億円以下
その他の業種	製造業、建設業、運輸業、農業、林業、漁業、金融業、保険業など	300人以下	3億円以下

※ 労働者数または資本金等のいずれか一方の条件を満たせば中小企業事業者となります。
※ 医療・福祉法人は原則資本金がありません。労働者の人数のみでの判断となります。



申請先・問い合わせ先

令和5年度補助事業者

一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会
エイジフレンドリー補助金事務センター

【申請担当】

電話：03-6381-7507 FAX：03-6381-7508

メール：af-hojyojimucenter@jashcon.or.jp

受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～16:00(土日祝休み)

(8月8日～8月15日(夏季休暇))

お急ぎください!!!

補助金申請期間

令和5年6月12日～令和5年10月末日

交付決定額が予算額に達した場合、申請期間中であっても受付を締め切ります。

介護用品販売業者等の営業担当の方に相談するとエイジフレンドリー補助金の手続き方法等教えてくださるかもしれないので購入を検討の際にはご相談ください。

労働災害防止対策（特に腰痛対策）に取り組んでいる事業場を参考にして、良い取組をどんどん取り入れよう！

事業場（好事例）のご紹介

～腰痛ゼロへの挑戦～

社会福祉法人 天神会

岡山県笠岡市神島3628-16

【事業概要】

天神会は「愛と献身」の精神で、特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・軽費老人ホーム・ホームヘルプサービス・居宅介護支援事業所などの高齢者介護事業、障害者支援施設や相談センターなどの障害者支援事業などを岡山県笠岡市を拠点に運営する総合福祉施設です。

腰痛対策のポイント

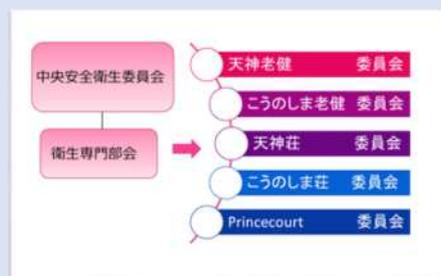
ノーリフト・ノーキャッチの手法を学ぶため、腰痛予防対策に先進的に取り組んでいるオーストラリア（アデレード）にスタッフを派遣し、実地研修を受けてきました。

（「ノーリフト」とは、オーストラリア看護連盟が看護師の腰痛予防対策として1998年にスタートさせました。「ノーリフト・ポリシー」として、介護者に負担の大きい作業を人の力だけで行うことを禁じ、福祉用具を使って移乗介護することを義務付けています。）



腰痛対策のポイント

腰痛予防対策に取り組むために組織（安全衛生体制）の中で腰痛対策担当を決め、各事業場に対する指示体系を明確にしました。



腰痛対策のポイント

外部からコンサルタント（講師）を招き、各スタッフに対して腰痛対策に関する教育（実技を含む）を行っています。

新入職員や外国人労働者に対しても適時行います。



腰痛対策のポイント

スタッフが手作りの啓蒙ポスターを作成し、職員へ意識づけができる効果的な箇所に掲示を行っています。



労働災害防止対策（特に腰痛対策）に取り組んでいる事業場を参考にして、良い取組をどんどん取り入れよう！

事業場（好事例）のご紹介

腰痛対策のポイント

簡単で短時間でできる「これだけ体操」を法人全体に導入しました。

TVでも紹介されており、インターネットで検索すると動画で観ることも出来ます。



①足を肩幅より少し広げます ②お尻にしっかり手を当てる ③骨盤を手で押し込むイメージで身体を反らす ④息を吐きながら3秒押し、ゆっくり戻す

腰痛対策のポイント

1回/月 各施設のラウンドを実施し、腰痛予防対策のアドバイスをいただくようにしました。

持ち上げない、抱えない介護の実践のためには、どうすればよいかを職員と共に考え、対策を考えていきました。



腰痛対策のポイント ~改善活動~

足の踏ん張りが利かない利用者様は、介護者がスライディングシートを引っ張り移乗行為を行っていました。シートのみで滑らせていましたが、シートの滑りが悪くベッドと車椅子との段差が軽度あり、利用者様へ苦痛を与えていました。

右のスライドは、改善後です。

手作りボードでベッドと車椅子の段差を取り、滑りやすいシートに変更する事で、スムーズな移乗となり、介護者の負担も軽減しました。



腰痛対策のポイント

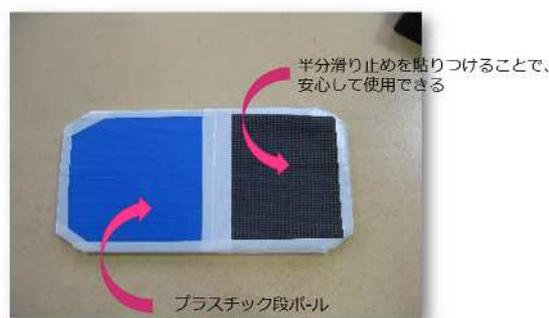
~改善活動~

立位保持できない方への排泄介助は、職員の腰への負担も大きく、狭い空間なので動きにも制限がかかります。そこで...

両側に肘掛けのある車椅子

肘掛けを跳ね上げ式かつ取り外し可能な車椅子に変更しました。

狭いトイレ内でも使い勝手をよくするためにスライディングシートを小さめに作成して、かつ便座にかかる部分に滑り止めを取付ました。



労働災害防止対策（特に腰痛対策）に取り組んでいる事業場を参考にして、良い取組をどんどん取り入れよう！

事業場（好事例）のご紹介

腰痛対策のポイント ～改善活動～

流し台はもともとが利用者様が車椅子で使用可能な高さでの設置となっているので高身長の職員が使用するには腰を曲げなければなりませんでした。

対策として蛇口を交換して、蛇口を高くしました。約8cm高くなった事で、腰に負担を掛けずに作業出来るようになりました。



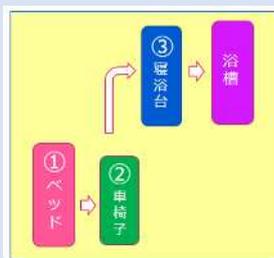
腰痛対策のポイント ～改善活動～

入浴時は乗回数が多く、抱える行為が多くなるため、介護者の負担になっていました。特に体の大きい利用者の場合、男性職員でなければ難しいという問題に直面していました。そこで...

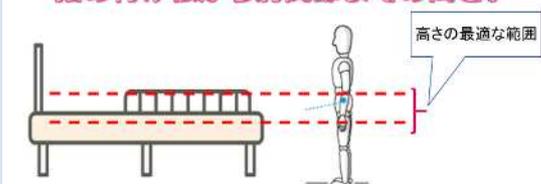
浴槽の位置を変更することで、動線が直線となり、スムーズな移動が出来るようになりました。車椅子の乗降が無くなり移動回数が3回から2回となりました。

ベッドを電動にすることで寝浴台と高さを合わせることができました。これにより作業における最適な高さを確保することができました。

高さが合ったことでスライディングシートを使用することが可能になりました。



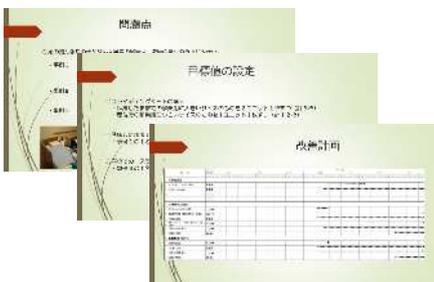
作業を行う高さは、腕を降ろした状態で、指の付け根から肘関節までの高さ。



腰痛対策のポイント

腰痛予防改善報告会を開催しました。皆で悩み、皆で考えた事の事例報告をしました。他施設の取り組みを聞くことで、自施設の改善の参考にもなりました。初めての試みで、やや緊張した所もありましたが、自分たちの成果報告だった為、みんなで改善をしたという達成感を味わえました。

また、表彰制度を設け、頑張った分をしっかり認めてもらえるため、モチベーションの向上につながっています。



天神会様、貴重な情報ありがとうございました